

課別事務事業評価取りまとめ表 農政課

NO	120	<h3>担い手への農地流動化</h3> <h4>幹旋面積</h4>		評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	北社市農業振興公社委託事業			高齢化や農家の減少による耕作放棄地化を防ぐため、新たな担い手の確保が課題となっております。しかしながら、新規に就農する場合には、営農計画以外にも住居、地域の方々との付き合い、農業経営等、就農するまでには多くのことが必要となります。今後、農業振興公社を窓口とし総合的な相談を行えるよう検討して参ります。	
事業内容	地域の実情に合った農地の流動化や集団化を円滑に行い、農地の有効利用を推進している。優良農地確保のため、農地中間管理機構の事業を活用しながら、耕作放棄地の解消事業や面的集積を行い、市と県と連携し、圃場整備事業の推進、大規模野菜生産企業の参入推進を図っている。また、新規就農者への営農・経営相談を行い人材確保にも努めている。			課題と改善策	
事業費	5,282千円	活動指標 (折線グラフ)	農地中間管理事業 (目標100ha:実績78ha)	達成率	【課題】 農業振興公社の役割が浸透していない状況にあるため、事業の活用等を周知する必要があります。
担当課	産業観光部農政課	成果指標 (棒グラフ)	農地の流動化 (目標250ha:実績249ha)	達成率	【改善策】 就農相談や農地の貸借相談に対応するため、専門的な職員の確保が必要となります。また、中間管理事業及び県単事業を活用し新たな担い手の安定経営に繋げるよう農地の整備が必要となります。また、今後農地を維持していくため、農業をリタイアする土地所有者等に対し中間管理事業を広報やHPIにおいて広く周知する必要があります。
				B	
				B	

NO	121	<h3>多面的機能支払交付金</h3> <h4>活動組織数</h4>		評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	多面的機能支払交付金			協定農用地面積が増加したことにより、耕作放棄地の発生防止に繋がっております。今後も現状の農地を維持していくため、事業の継続を推進していきます。	
事業内容	地域が行う農用地、水路等の地域資源の日常の保全管理活動に加え、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修等を行う活動を支援する。			課題と改善策	
事業費	189,923千円	活動指標 (折線グラフ)	活動組織への指導 (目標188回:実績188回)	達成率	【課題】 農業従事者の高齢化が進む中、後継農業者への適切な引継ぎや協定内での自助努力を促し、農業生産体制を維持していく必要があります。
担当課	産業観光部農政課	成果指標 (棒グラフ)	活動組織数 (目標100組織:実績94組織)	達成率	【改善策】 農業従事者の高齢化が進む中、担い手の確保が必要となります。新規就農者や大規模農家を対象として、組織の構成員として事業に取り組みめるよう農業振興公社と連携しながら指導し体制の維持を図ります。
				A	
				B	

NO	122	<h3>有機農業作付け面積</h3>		評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金			本事業は有機農業を実施し、環境保全活動を行う生産者を対象とする数少ない事業の一つであり、平成30年度においては、市内で約62haの農地を対象に活動を実施しております。今後においても、環境保全及び農作物の安心・安全の重要性を広く周知するためにも継続して事業を実施する必要があります。	
事業内容	農業者が地球温暖化防止を目的とした、農地土壌への炭素貯蔵に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援を行う事業である。			課題と改善策	
事業費	4,932千円	活動指標 (折線グラフ)	活動組織への指導 (目標32回:実績32回)	達成率	【課題】 有機農業による生産物の需要は年々増加傾向にあります。しかしながら、有機農業は作付けの大規模化が困難であるため、補助対象となる栽培品目の増加や年間を通して販売が行える品目等を検討し経営の安定化を図りつつ、環境保全型農業の拡大を図る必要があります。
担当課	産業観光部農政課	成果指標 (棒グラフ)	取組面積 (目標70ha:実績62ha)	達成率	【改善策】 補助対象となる栽培品目の増加を要望し、農家の取組作物の自由度を上げ農業経営の安定化を図る必要があります。課題の解決策として、農林水産省との意見交換会の折に国に対し、課題を提起し検討いただけるよう要望を行います。
				A	
				B	

課別事務事業評価取りまとめ表 農政課

NO	123	太陽光発電施設による 発電量		評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	農村地域新エネルギー利活用推進事業			地域の環境負荷低減と施設の維持管理費負担の軽減が図られることから、今後も太陽光発電施設を維持していく必要があります。	
事業内容	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業により設置した太陽光発電設備を、誘致企業が利用しづらい農地法面に設置することにより土地の有効活用を行い、商用電源利用に比べ、低炭素社会実現のために活用が望まれる新エネルギー（太陽光発電）を使用し、地球温暖化防止に貢献を行う。			課題と改善策	
事業費	19,984千円	活動指標 (折線グラフ)	太陽光発電施設による発電量 (目標750,000kwh:実績704,935kwh)	達成率	【課題】 設備の大規模修繕に備え、修繕に必要な積立金の確保が重要となります。については、日頃からの管理を徹底し、維持管理経費の削減に努めることが重要となります。
担当課	産業観光部農政課	成果指標 (棒グラフ)	維持管理費 (目標32,400千円以下:実績13,907千円)	達成率	【改善策】 管理委託業者への指導を行い、設備修繕に迅速な対応をすることで、設備の故障箇所を最小限に抑え経費の削減を図ります。

NO	124	協定農用地面積		評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	中山間地域等直接支払交付金			協定農用地面積の増加に伴い、耕作放棄地の発生防止に繋がるとともに、営農環境の更なる向上に繋がっているため、今後も事業を継続していく必要があります。	
事業内容	交付金を活用し、農業施設等の維持管理を行う。			課題と改善策	
事業費	390,977千円	活動指標 (折線グラフ)	協定組織への指導 (目標492回:実績492回)	達成率	【課題】 集落協定による地域ぐるみでの農業施設や農用地を守る事を目的に事業が開始され、地域にはこの事業に対する意識が浸透しております。農業従事者の高齢化が進む中、新たな担い手への適正な引継ぎや協定内での自助努力を促すことにより農業生産体制を維持していく必要があります。
担当課	産業観光部農政課	成果指標 (棒グラフ)	協定組織数 (目標165協定:実績164協定)	達成率	【改善策】 農業従事者の高齢化が進む中、新規就農者の確保や集落営農の法人化など方法改善を指導し、体制の維持を図ります。

課別事務事業評価取りまとめ表 林政課

NO	125	シカ・イノシシ・サルによる農業被害額			評価に対する今後の方向性	維持継続																
事務事業名	鳥獣害対策事業	千円	回数		今後も市民が有効な鳥獣害対策が実施できるよう、また獣害対策に対する意識の向上が図られるよう、積極的に情報収集を行うとともに、説明会や講習会等の開催を実施をしていきます。																	
事業内容	先進地視察や研修を生かし、説明会を実施し、自主防除の取組を中心とした意識啓発と知識の普及を図り、野生鳥獣による被害の防止、軽減に繋げる。	<table border="1"> <caption>シカ・イノシシ・サルによる農業被害額</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>農業被害額 (千円)</th> <th>説明会・講演会等の開催数</th> <th>先進地視察、研修参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>31,941</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>29,080</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>25,860</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			年度	農業被害額 (千円)	説明会・講演会等の開催数	先進地視察、研修参加	H28	31,941	2	2	H29	29,080	2	2	H30	25,860	1	0	課題と改善策	
年度	農業被害額 (千円)	説明会・講演会等の開催数	先進地視察、研修参加																			
H28	31,941	2	2																			
H29	29,080	2	2																			
H30	25,860	1	0																			
		【課題】 市民に対し、市が実施している獣害対策事業(補助金の交付、講習会の実施等)を積極的に周知する必要があります。また、市民からの相談に対し、的確で有効な指導ができるよう職員のレベル向上を図る必要があります。																				
事業費	42千円	活動指標 (折線グラフ)	先進地視察、研修参加 (目標1回:実績0回) 説明会・講演会等の開催数 (目標1回:実績1回)	達成率	【改善策】 市が行っている獣害対策事業についてホームページや広報等を通じて積極的に周知を行います。また、職員の知識向上のための研修参加、先進地視察等の実施を行ない、適切な対応策を伝達し、防除効果に繋げていきます。																	
担当課	産業観光部林政課	成果指標 (棒グラフ)	農業被害額(シカ・イノシシ・サル) (目標26,463千円以下:実績25,860千円)	達成率	A																	

NO	126	鳥獣被害対策実施隊登録人数			評価に対する今後の方向性	維持継続												
事務事業名	鳥獣被害対策実施隊事業	千円	人数		鳥獣被害対策実施隊の活動は、有害鳥獣による市内の農林産物、人畜等の被害軽減につながっています。今後も継続して活動を実施していきます。													
事業内容	鳥獣害対策を推進するため各猟友会から推薦してもらい、有害鳥獣駆除や管理捕獲事業など有資格による捕獲活動を実施する。	<table border="1"> <caption>鳥獣被害対策実施隊登録人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>農業被害額 (千円)</th> <th>実施隊登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>31,941</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>29,080</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>25,860</td> <td>215</td> </tr> </tbody> </table>			年度	農業被害額 (千円)	実施隊登録人数	H28	31,941	175	H29	29,080	200	H30	25,860	215	課題と改善策	
年度	農業被害額 (千円)	実施隊登録人数																
H28	31,941	175																
H29	29,080	200																
H30	25,860	215																
		【課題】 鳥獣被害対策実施隊員は猟友会からの推薦によるもので、近年は増加傾向で人員を確保できていますが、比較的年齢層が高いため、将来にむけて若手人材の確保、育成が必要です。																
事業費	404千円	活動指標 (折線グラフ)	実施隊登録人数(猟友会からの申請) (目標164人:実績215人)	達成率	A													
担当課	産業観光部林政課	成果指標 (棒グラフ)	農業被害額(シカ・イノシシ・サル) (目標26,463千円以下:実績25,860千円)	達成率	A													
		【改善策】 若手人材の確保、人材育成のために県猟友会等が実施する育成活動への参加を促します。																

NO	127	野生鳥獣に関する巡回日数			評価に対する今後の方向性	維持継続												
事務事業名	野生鳥獣被害防除事業	千円	日数		野生鳥獣からの被害を防除、軽減するためには継続的な取り組みが必要であるため、今後も継続して取り組みを行なっていきます。													
事業内容	有資格の臨時職員による巡回により追払い作業やニホンザルの生息状況の確認、また、野生鳥獣による農林産物や生活への被害に迅速に対応し、有害鳥獣等の被害軽減に努める。	<table border="1"> <caption>野生鳥獣に関する巡回日数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>農業被害額 (千円)</th> <th>巡回日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>31,941</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>29,080</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>25,860</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>			年度	農業被害額 (千円)	巡回日数	H28	31,941	19	H29	29,080	17	H30	25,860	18	課題と改善策	
年度	農業被害額 (千円)	巡回日数																
H28	31,941	19																
H29	29,080	17																
H30	25,860	18																
		【課題】 ニホンザルの生息状況は、臨時職員を雇用しテレメトリーを活用して行動域調査を実施していますが、技術が日々進歩している現代の中で、費用対効果ができる限り最適になる別の方法があるか、検討を行う必要があります。																
事業費	5,183千円	活動指標 (折線グラフ)	巡回日数 (目標17日:実績18日)	達成率	A													
担当課	産業観光部林政課	成果指標 (棒グラフ)	農業被害額(シカ・イノシシ・サル) (目標26,463千円以下:実績25,860千円)	達成率	A													
		【改善策】 費用対効果ができる限り最適となる取り組みの手法について、先進地事例や専門家のアドバイスを受けるなどして検討を行ないます。																

課別事務事業評価取りまとめ表 林政課

NO	128	<h3>管理捕獲頭数</h3>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	特定鳥獣適正管理事業				成果指標の目標に向けて捕獲活動を継続するとともに、捕獲を実施する隊員の確保に努めます。	
事業内容	鳥獣害対策を推進するため、山梨県の第二種特定鳥獣の個体数調整を地域猟友会に依頼し、ニホンジカ・イノシシ・ニホンザルの個体数が適正数になるよう捕獲活動を行う。				課題と改善策 【課題】 特定猟具の使用ができない場所(別荘地など)に出没する獣の捕獲方法や捕獲作業について、地域住民に周知を行い、理解を得る必要があります。	
事業費	32,555千円	活動指標 (折線グラフ)	鳥獣被害防止実施隊員数 (目標200人:実績216人)	達成率	【改善策】 効果的な捕獲作業を行うためには、年度切り替え時の速やかな捕獲依頼の実施が必要です。また、捕獲作業を行うにあたっては、住民に捕獲の必要性を周知するとともに防災無線等で注意喚起を行い、住民の理解を得ます。	
担当課	産業観光部林政課	成果指標 (棒グラフ)	管理捕獲数(シカ・イノシシ・サル) (目標2,320頭:実績2,051頭)	達成率	B	

NO	129	<h3>北杜モデル林整備状況</h3>			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	北杜モデル林整備事業				限られた財源の中で、最大の効果が得られるよう計画的、効率的に整備していきます。	
事業内容	荒廃した市有林を、環境保全協力金や造林補助事業等を活用し、植栽、下刈り、補植等の施業により森林整備・保全を図り、森林環境教育の場、保健休養の場としての価値を高め、広く市民に周知する。また、講座の開催場所や林業就労者の育成場所として活用する。				課題と改善策 【課題】 森林を形成するまでは、下刈り、除伐などの保育作業や野生鳥獣からの被害防除を行う必要があります。また、環境教育の場としての活用方法が課題です。	
事業費	443千円	活動指標 (折線グラフ)	下刈面積 (目標2ha:実績1.2ha)	達成率	【改善策】 保育に必要な下刈り等や獣害対策を実施していきます。その際には、講座等と組み合わせることで就労者の育成を図ります。	
担当課	産業観光部林政課	成果指標 の説明	植林してから森林の体を成すようになるまでには長い年月を要し、すぐに成果が出るものではないため、現時点での判定、評価は困難です。	達成率	-	

NO	130	<h3>被害木処理(材積量)</h3>			評価に対する今後の方向性	維持・充実
事務事業名	松くい虫防除対策事業				限られた予算の中ですが、被害木の拡大を抑制するため、工夫して防除事業を実施していきます。	
事業内容	伐倒くん蒸処理及び伐倒薬剤処理等により、森林病害虫の予防及び駆除を実施する。防除の方法として、標高800m(先端地域)の地区被害防止森林の防除事業、対象地域は北杜市全域で、伐倒処理のみ行う、枯損木除去事業、守るべき松林の保全のための衛生伐事業などを行う。				課題と改善策 【課題】 松くい虫被害は事業を実施しても被害木が増加傾向であり、未被害地への進行が進んでいることから、市内全域へ被害が拡大する恐れがあります。森林所有者が不在となっている場所や、所有者からの承諾が得られない場所への被害の進行があることから撲滅が難しい状況です。	
事業費	22,085千円	活動指標 (折線グラフ)	被害木処理(材積量) (目標1,460m³:実績1,082m³)	達成率	【改善策】 樹種転換事業を積極的に活用していただくとともに、土地所有者における管理のための啓発活動に努めます。また、県単独補助金(枯損木事業)の割当て増加を要望していきます。	
担当課	産業観光部林政課	成果指標 の説明	限られた予算の中で被害蔓延の防止を行っていますが、その中でできる限り松枯れ木の倒木による生活道等への危険除去を行ないました。また、本事業により被害蔓延の加速スピードの抑制につながっているものと考えます。しかしながら、成果を数値化するのは困難です。	達成率	-	

課別事務事業評価取りまとめ表 林政課

NO	131	<h3>北の杜づくり 講座参加者数</h3> <p>人</p>			評価に対する今後の方向性	方法改善	
事務事業名	北の杜づくり講座開催事業				事業費	55千円	活動指標 (折線グラフ)
事業内容	森林が果たす役割や森林の育成等について学ぶ講座やフィールドワークなど体験型の講座を開催する。	成果指標の説明	本講座の実施により森林整備や木材利用につながったとするデータは把握していませんが、間伐・薪づくり・チェーンソー管理をテーマにした講座に定員を大きく上回る人が募集してきたことを考えると、森林整備や薪利用に対する関心や意欲を持った人が多く存在している証であり、本講座の意義はあると考えます。			達成率	-
		<p>【課題】職員が必要最小限の関わりで実施する中で、事業の目的を達成できるよう、その仕組みづくり、方法等を考える必要があります。</p> <p>【改善策】事業を遂行できる外部事業者へ業務委託し、職員の関わりを低減します。</p>					

NO	132	<h3>維持管理活動</h3> <p>ha</p>			評価に対する今後の方向性	維持継続	
事務事業名	「音事協の森」整備事業				事業費	145千円	活動指標 (折線グラフ)
事業内容	企業や市民からの協力金を活用して「音事協の森」の維持管理を行い、憩いの場として活用するとともに地球温暖化防止など、環地球環境保全の啓発を図る	成果指標の説明	音事協の森に何人が訪れたのか、また訪れた人々が地球環境保全について考える契機となったかどうかを把握するのは困難です。			達成率	-
		<p>【課題】市民等が利用できる環境を整えつつ、「音事協の森」についての周知、利用に繋げるための情報発信をする必要があります。</p> <p>【改善策】ホームページで情報を発信し、適宜、更新していきます。</p>					

NO	133	<h3>森林保全面積(除間伐)</h3> <p>ha</p>			評価に対する今後の方向性	維持継続	
事務事業名	水資源保全管理事業				事業費	723千円	活動指標 (折線グラフ)
事業内容	企業からの寄附金を水源地域へ還元するため、企業プログラムに則した森林整備事業を実施する	成果指標の説明	森林の整備を行なうことで、水源涵養等森林が持つ多面的機能が保持、増進されますが、成果について数値化して評価することは困難です。			達成率	-
		<p>【課題】本事業の財源である寄附金は、企業の商品の売り上げの一部を森林の環境保全のために寄附するものであり、整備面積の決定は寄附額の確定後になります。よって、手続きを含めた整備の時間的制限が生じるため、事前に整備候補地を選定し、土地所有者の理解を得ておく必要があります。</p> <p>【改善策】整備候補地については広範囲で選定し、事前に土地所有者の理解(場合によっては同意)を求め、また、企業とは連携を密にして情報共有を図るなどして、計画的・円滑な整備に取り組みます。</p>					

課別事務事業評価取りまとめ表 観光課

NO	134			評価に対する今後の方向性 維持継続
事務事業名	観光PR事業	観光客入込客数 人 回・部 6,000 200,000 4,000 100,000 2,000 0		情報発信は絶えず複合的に行っていくことにより効果があるため、今後も事業を継続していく必要が有ります。
事業内容	市が行う観光パンフレットの作成、観光誘客キャンペーン・観光イベント参加など、観光案内等を通して北杜市の魅力を発信し、観光客の誘客を図る。	4,020 882 19 3,980 839 14 4,459 947 10 H28 H29 H30 観光客入込客数(北杜市) 宿泊者数(峡北圏域) 観光キャンペーン パンフレット配布数		
事業費	14,801千円	活動指標 (折線グラフ)	観光キャンペーン (目標10回:実績10回)	達成率 A
担当課	産業観光部観光課	成果指標 (棒グラフ)	宿泊者数(峡北圏域) (目標1,010人:実績947人)	達成率 B
【課題】 観光キャンペーンは、パンフレットの封入作業や運搬、当日は配布、PRの人員が必要になります。限られた職員と予算の範囲内で効率的に実施するために、(一社)北杜市観光協会等と分担し実施を行うことが必要となります。				
【改善策】 北杜市の観光案内業務を担う(一社)北杜市観光協会等との連絡調整を行います。				

NO	135			評価に対する今後の方向性 維持継続
事務事業名	情報発信事業	観光協会HP閲覧数 千人・千アクセス 部 6,000 10,000 4,000 5,000 2,000 0		誘客のために継続して情報発信を行うことが必要です。観光シーズンにおいては観光協会の事業実施等もあることから、インバウンドに対応した情報発信および宣伝活動等において委託業務を担う人員等、観光協会の体制確保が必要とされます。
事業内容	観光協会が行う観光パンフレットの作成、観光誘客キャンペーン・観光イベントへのPRブース出展など専門的なノウハウをいかした観光案内を通して北杜市の魅力を発信し、観光客の誘客を図る。 ・誘客のための観光キャンペーン、物産展への出展 ・キャンペーンや誘客に必要な情報パンフレット、ノベルティの作成	4,020 811 3,980 1,075 4,459 915 H28 H29 H30 観光客入込客数(北杜市) 観光協会ホームページ閲覧数 配布物制作		
事業費	1,903千円	活動指標 (折線グラフ)	配布物制作 (目標9,000部:実績9,000部)	達成率 A
担当課	産業観光部観光課	成果指標 (棒グラフ)	観光協会ホームページ閲覧数 (目標1,000,000アクセス:実績915,000アクセス)	達成率 B
【課題】 観光キャンペーンは多数機会があり、市が参加しているキャンペーンなどもあり双方協力している状況です。北杜市観光協会は、観光客のニーズを捉えているため、引き続き情報発信業務を充実させるほうが効果が高いと思われるが、現状はイベントや各種の事業実施に人員や時間を費やしている状況です。				
【改善策】 情報発信及び宣伝活動を効果的に行うため北杜市観光協会と情報共有、役割分担をするため、打ち合わせを年度当初に行います。				

NO	136			評価に対する今後の方向性 維持継続
事務事業名	信玄公祭日出陣事業	信玄公祭り北杜隊参加者数 人 人・社 6,000 50 4,000 2,000 0		世界最大の武者行列祭りとして、国内外から多くの観光客が来訪します。県全体の活性化に寄与するお祭りとし、本市も一体となりPRが可能になります。
事業内容	山梨県下最大のイベントである信玄公祭りに、本市にゆかりのある「馬場美濃守信春」隊を編成し、市内で出陣式を行った後、甲府市内で甲州軍団の隊として行進する。	4,459 40 8 H28 H29 H30 観光入込客数(北杜市) 北杜隊参加者数 協力企業		
事業費	1,577千円	活動指標 (折線グラフ)	北杜隊参加者数 (目標40人:実績40人)	達成率 A
担当課	産業観光部観光課	成果指標 (棒グラフ)	観光入込客数(北杜市) (目標4,400人:実績4,459人)	達成率 A
【課題】 観光課が人員の確保や段取りの事務を担っています。イベントの日程が年度初めに設定されており、限られた準備期間において、事業を進める必要があります。				
【改善策】 現在は市が事務の窓口を行っていますが、北杜市観光協会や民間事業者が主体となり進めることにより、更なる効果が期待できるかどうか検討したいです。やまなし観光推進機構での会議上、情報交換を行い、他の市町村の事業方法を参考にします。				

課別事務事業評価取りまとめ表 商工・食農課

NO	137	アウトレット管理面積			評価に対する今後の方向性	維持継続
事務事業名	八ヶ岳リゾートアウトレットモール施設管理事業	<p>82,340 82,340</p> <p>100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0</p> <p>H28 H29 H30</p> <p>●— アウトレットの敷地面積</p>			<p>八ヶ岳観光圏エリアの観光施設として、観光客の誘客に貢献している施設であり、今後も安全対策を第一に考え、定期的に老朽化した施設の安全点検や修繕を行うなど、維持管理に努めます。</p>	
事業内容	地元地権者から借り受けている土地について、土地賃貸借契約書に基づきアウトレットに貸し付ける。また市有建物について、市有財産賃貸借契約に基づきアウトレットに貸し付けるとともに、必要に応じ修繕を行う。				課題と改善策	
事業費	8,706千円	活動指標 (折線グラフ)	アウトレットの敷地面積 (実績82,340㎡)	達成率	【課題】 地元地権者とアウトレットの双方を相手方に契約しており、いずれの土地賃貸借契約も平成13年4月1日から令和13年3月31日までの30年間を契約期間としていますので、長期間にわたり老朽化した施設の維持管理を行う必要があります。	
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標の 説明	アウトレットの敷地面積 (実績82,340㎡)	達成率	【改善策】 安全対策を第一に考え、定期的に老朽化した施設の安全点検や修繕を行うなど、維持管理に努めます。	
				A		
				A		

NO	138	おはよう朝ごはん コンテスト応募者数			評価に対する今後の方向性	方法改善
事務事業名	キッチン事業	<p>300 250 200 150 100 50 0</p> <p>18 16 14 12 10 8 6 4 2 0</p> <p>H28 H29 H30</p> <p>■ 「食育に関心がある」市民の割合 ■ おはよう朝ごはんコンテスト応募者数 ●— およこ食育教室の実施園数 ●— おはよう朝ごはんコンテスト募集校数</p>			<p>親子食育教室は、包丁などの道具を使って行うことが子供にとっては大きな経験のひとつであり、道具の危険性を理解することも求められることから年長児を下限とする必要があります。また、親子で共に行うことが家庭での「食」への関心に効果を得られることから、今後も市内全保育園の年長児親子対象での実施をします。おはよう朝ごはんコンテストについては、総合戦略プレ計画に位置づけられ、コンテスト型から出前授業により生徒、児童に直接的に朝食を食することの大切さを伝えるため事業を大幅に見直しします。一般向けみそ作り教室については、事業の効果の把握のため、参加者が家庭においても自主的にみそ作りを行っているか追跡調査を行います。</p>	
事業内容	○保育園親子食育 食生活改善推進員の協力のもと、地産地消を基本に食材を利用し、子どもが主体となり調理実習を行います。 ○おはよう朝ごはんコンテスト 小・中学生に朝ごはんを毎日欠かさず食べることの啓発活動として料理コンテストを実施します。 ○一般向け食育・地産地消 日本の伝統文化の普及と継承、地元の農産物のPRと地産地消の推進を図ります。				課題と改善策	
事業費	471千円	活動指標 (折線グラフ)	おはよう朝ごはんコンテスト募集校数 (目標20校:実績11校)	達成率	【課題】 親子食育教室は、食への関心を高め、家庭内においても健全な食生活を実践してもらう必要があることから、保護者の食育への理解が必要です。おはよう朝ごはんは、事業見直しに伴い、授業時間で直接的に伝える方法となることから、実施校が限られてしまうため、公平性を保つことは難しくなります。補完する事業として、コンテスト方式ではなく、朝ごはんを食することの大切さについて考える機会を広く呼びかける工夫が必要です。一般向けみそ作り教室は、同時期に教育ファーム事業の味噌作り授業と重なり、連日作業に向くため、職員負担が多い状況です。	
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標 (棒グラフ)	おはよう朝ごはんコンテスト応募者数 (目標350人:実績216人)	達成率	【改善策】 親子食育教室は、保護者向けの座学を充実させ、なぜ親子食育をやるのか理解していただき、意欲的に取り組んでもらうよう工夫します。おはよう朝ごはんは、学校でカリキュラムへ受け入れが出来る内容、又は現状を聞き取ります。小学校は、総合の学習の時間を活用、朝ごはんの学習と地域の食材の学習をつなぐ事業を展開、講師の調整や素材の情報収集など、担任の負担の軽減の手助けとなります。中学校においては、家庭科の授業が生徒の自立を目的としていることから、家庭での料理(朝ごはん)の実践を促す事業を提案します。一般向けみそ作り教室は、民間で同様の取り組みをする団体等を調査し、一部(全部)委託等による事業展開を検討します。	
				B		
				B		